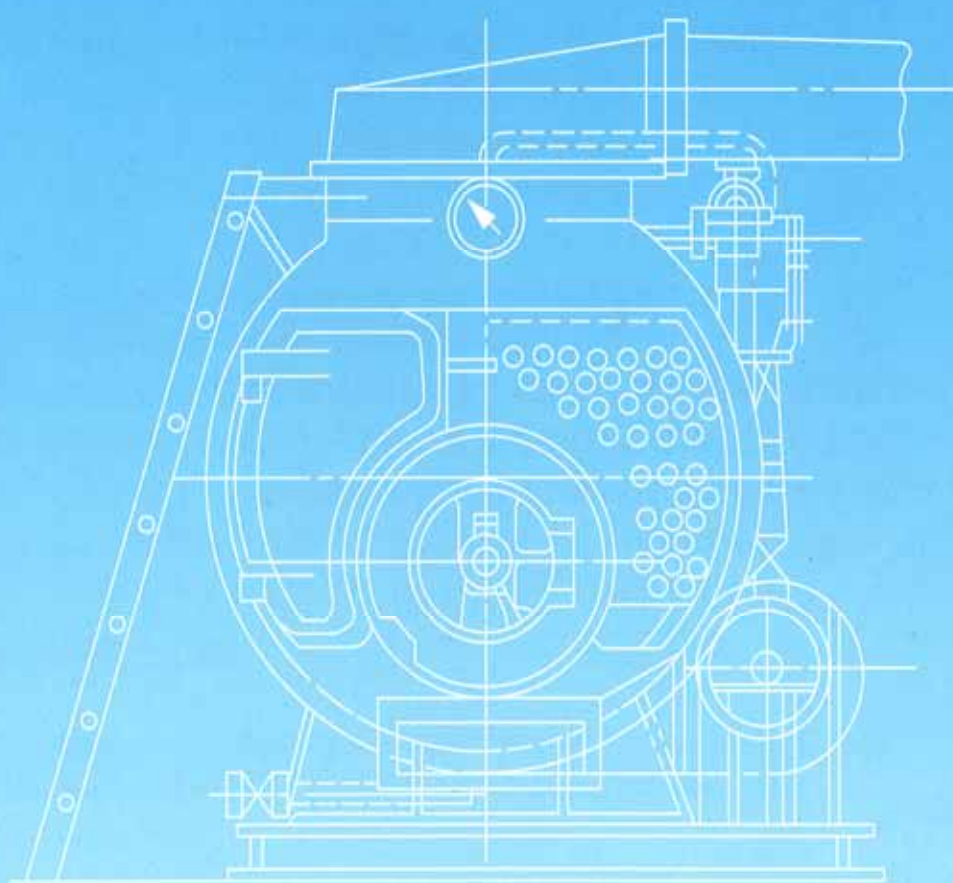


---

# 二級ボイラー技士免許試験 通信講座の手引き

---



社団法人 日本ボイラ協会

## ■通信講座の受講を申し込まれた方へ■

1. はじめに、この手引きをご一読ください。また、同封の通信講座規程も併せてご覧ください。
2. 通信講座は基本的には受講者が自己学習し、社団法人日本ボイラ協会の通信講座事務局が学習のお手伝いをするものです。
3. 通信講座の期間は4ヵ月です。二級ボイラー技士免許試験は4科目です。  
学習の進度には個人差がありますが、1科目・1ヵ月の学習を標準にしています。
4. 学習科目の順序は、①ボイラーの構造、②燃料及び燃焼、③ボイラーの取扱い、④関係法令 の順です。(②と③の順序が教本と異なります。)
5. 当協会の通信講座の特徴は、学習の進行を郵便によるきめ細かい送・返信を基本とし、学習の過程での受講者の質問などに対しFAX、Eメールなどでもお受けし回答することとしています。

### (通信先)

社団法人 日本ボイラ協会 通信講座事務局  
東京都港区新橋5丁目3番1号  
JBAビル3階  
TEL：03-5473-4515  
FAX：03-5473-4522  
E-MAIL：ent@jbanet.or.jp

6. 受講料30,000円(消費税込み)を同封の「郵便振替払込用紙」により払い込みください。ご都合により受講できなくなった場合、教材到着後8日以内なら返品ができます。返送料はご負担いただきます。  
なお、受講者側で生じた教材の傷みや、教材への書き込みなどがある場合についての返品は受け付けできかねますのでご了承ください。

## ■学習の前に■

### 1. ボイラー技士はエネルギー管理の担い手

ボイラーは、工場やビルなどさまざまな場所で重要な役割を果たしています。しかし、特に危険な機械として法令により規制を受けています。

それだけにボイラーの取扱いは次の点で大きな意義のある業務です。

- ① 常時内在する膨大なエネルギーによる爆発・破裂の危険を防止する
- ② 燃料のもつ熱エネルギーを有効に活用する
- ③ 煙突から出るばい煙を減少させ、大気汚染を防止する

また、例えば生産工場で蒸気が止まると生産ラインが止まってしまうという大きな支障も生じます。ボイラー技士はエネルギー管理の担い手なのです。

### 2. ボイラー技士免許は国の資格試験

労働安全衛生法では就業制限業務として、必要な知識技能を有し、かつ資格のあるものでなければボイラー取扱い業務に就くことはできません。

ボイラー技士には、二級、一級及び特級の3ランクがありますが、二級ボイラー技士の資格を持っていれば、全てのボイラーを取り扱うことができます。

なお、取扱作業主任者となるには制限があります。

### 3. 受験にあたっては受験資格が必要

本通信講座は受験勉強のお手伝いをするもので、受験資格を得るためのものではありません。

二級ボイラー技士免許試験の受験資格については6頁を参照してください。

## ■学習にあたって■

### 1. 通信講座は合格をより確かなものにするため

合格を目指すためには、受験準備が大切です。

受験準備講習として、社団法人日本ボイラ協会では、期日、時間を決めて（昼間帯）集中的に行う講習会を開催していますが、業務の都合などで講習会に参加できない方々などのためにこの「二級ボイラー技士免許試験通信講座」を開講いたしております。

受験準備の講習会、通信講座は法令の定めはありませんが、合格をより確かなものにするための学習の機会です。

### 2. 二級ボイラー技士免許試験の合格率は約40%

試験科目とその範囲は法令により次のようになっています。

① 試験科目と範囲（学習の順序は④③②①の順です。）

試験科目	範囲
④ ボイラーの構造に関する知識	熱及び蒸気 種類及び形式 主要部分の構造 附属設備及び附属品の構造 自動制御装置
③ ボイラーの取扱いに関する知識	点火 使用中の留意事項 埋火 附属設備及び附属品の取扱い ボイラー用水及びその処理 吹出し 清浄作業 点検
② 燃料及び燃焼に関する知識	燃料の種類 燃焼方式 通風及び通風装置
① 関係法令	労働安全衛生法 労働安全衛生法施行令及び労働安全衛生規則中の関係条項 ボイラー及び圧力容器安全規則 ボイラー構造規格中の附属設備及び附属品に関する条項

② 試験は学科のみで、それぞれの科目ごとに10問が出題され、試験時間は全科目を通じて3時間です。

③ 合格基準は、各科目が40%以上、かつ、全科目の平均が60%以上の得点が必要となっています。

これまでの試験の合格率はおおむね40%程度で推移しています。各種の国家試験のうちでは「やや難関」と評価されています。

学習することが多いので、要所要所を確実に理解して覚えましょう。

### 3. 日本ボイラ協会の通信講座のしくみ

社団法人日本ボイラ協会の通信講座は、受験準備用の学習教材を使用して、原則として、1科目を1ヵ月のテンポで自己学習し（計4科目4ヵ月）、1科目ごと添削用模擬問題を解答して通信講座事務局へ郵送します。郵送された解答を専門家により採点し、解答、解説書を受講者にフィードバックします。

この流れを各科目ごと繰り返します。

自己学習の際、能率的、かつ、効果を高めるため学習の道しるべとなる「二級ボイラー技士免許試験チャート（学習要領）」を併用して活用します。

このチャートや実際の試験場と同様な模擬試験問題への解答方式、詳しい解答・解説などが日本ボイラ協会通信講座の大きな特長となっています。

### 4. 豊富な教材でポイント・ポイントを大切に

通信講座の教材や資料として次のものがあります。

（案内）

- ① 二級ボイラー技士免許試験通信講座の手引き（本書）
- ② 社団法人日本ボイラ協会通信講座規程

（学習用教材）

- ① 二級ボイラー技士教本

「ボイラーの構造」、「ボイラーの取扱い」、「燃料及び燃焼」の3科目を収録し、この教本をもとに試験問題が作成されています。

- ② わかりやすいボイラー及び压力容器安全規則（法令教本）  
もう1科目の「関係法令」をわかりやすく解説した法令教本
  - ③ 二級ボイラー技士免許試験チャート（学習要領）  
4科目の学習のポイントをまとめた学習要領書で、前記教本の学習の前後に活用されると効果的
  - ④ ボイラー図鑑  
学習要領に示す補助教材で、カラー写真等により実際のボイラー等を図示（模擬問題）
  - ① 模擬試験問題・解答カード  
各科目ごとに模擬試験問題30問を出題、その解答を解答カードに記入し、日本ボイラー協会通信講座事務局へ返送
  - ② 模擬問題解答・解説  
各科目の採点結果、問題の解答・解説を受講者へフィードバック（フォロー教材）
  - ・二級ボイラー技士試験標準問題集  
自己の学習の最後の仕上げとして活用すると効果的
- 学習する範囲が広いため、ポイントを効率的、効果的に学習することが必要です。

## 5. 効果的な学習を

手順は7に示しますが、次により学習されると効果的です。

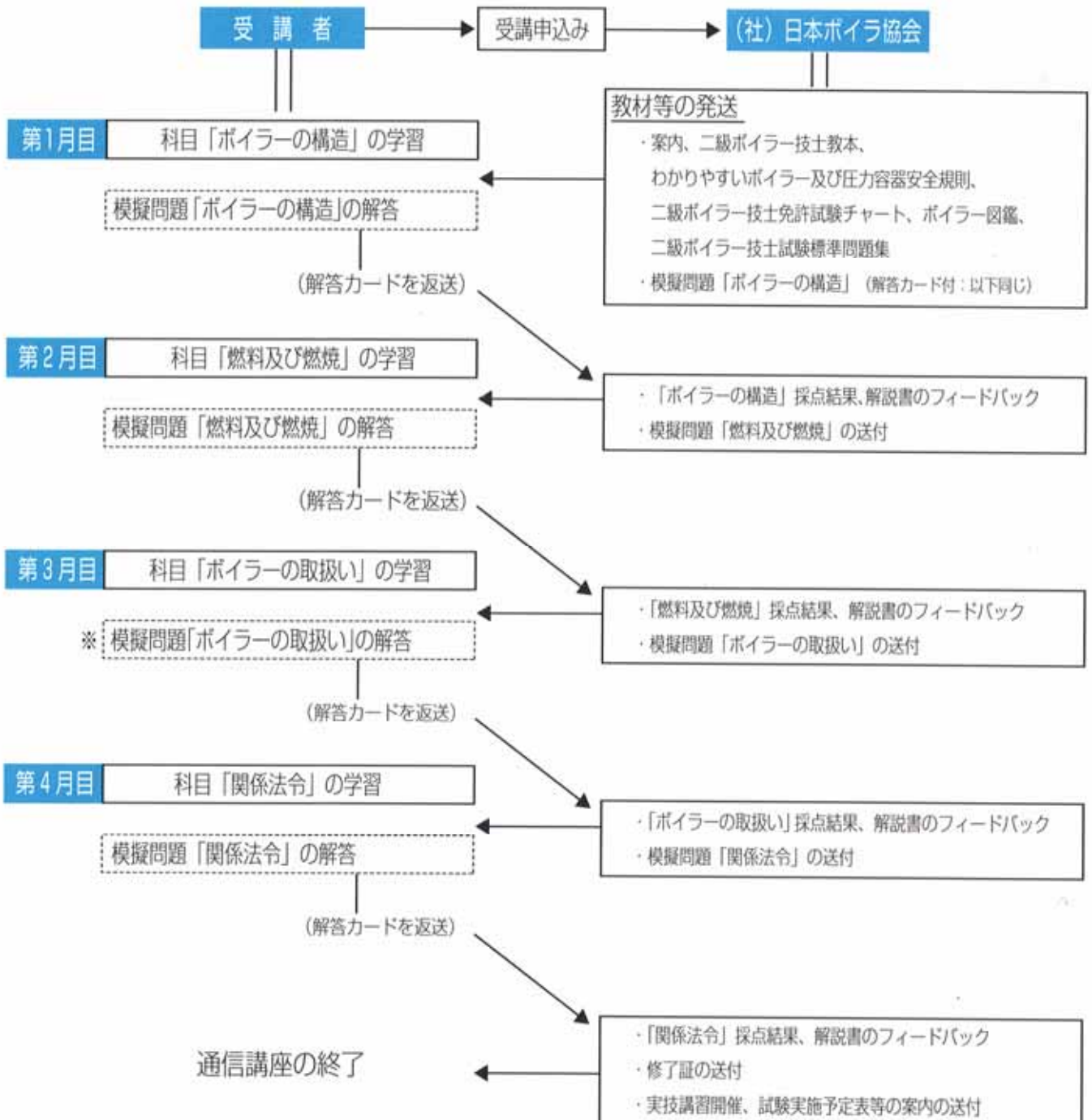
- ① 学習に先立ち、学習要領で該当科目の学習のポイントを理解する。特に指示がある図鑑の写真等は参照してください。
- ② 教本の該当科目の内容について理解する。（教本をもとに出題されるため）  
↓
- ③ 学習要領でポイント・内容を復習する。  
↓
- ④ 模擬問題を解答する。（なるべく教本などを参照しないで解答してください。）  
↓
- ⑤ 返信する  
↓
- ⑥ 解答が戻ってきたら『二級ボイラー技士試験標準問題集』で該当科目の問題を解く。

## 6. 学習の評価

この通信講座においては、科目ごと模擬試験問題の得点が60%以上を合格といたします。合格に到らなかった場合は、当該科目の追試験として模擬問題を10題出題し、再評価をいたします。

## 7. 学習の順序

通信講座は受講者と社団法人日本ボイラ協会が連携して学習効果を高めるものです。学習の順序は次の「→」に従って行います。（「燃料及び燃焼」と「ボイラーの取扱い」の学習順は教本の順と異なっています。）



※科目「ボイラーの取扱い」はボイラーに関する総合的な内容であるため、「燃料及び燃焼」の後に学習します。

## ■学習の後に■

### 1. 受験資格をチェックする

せっかく学習しても受験資格がないと受験できません。

#### 二級ボイラー技士免許試験の受験資格

- ① 大学、高等専門学校または高等学校でボイラーに関する学科を修めて卒業後、実地修習3ヵ月以上ある者
- ② ボイラー取扱い実地修習6ヵ月以上ある者
- ③ ボイラー取扱い技能講習修了者で小規模ボイラー取扱い経験4ヵ月以上ある者
- ④ ボイラー実技講習を修了した者
- ⑤ その他労働大臣が定めた者

なお、②の「実地修習」とは、所轄都道府県労働局長に計画を提出して行う特別のものです。ボイラー取扱い経験がない方は、④の受講が受験資格取得の早道です。

通信講座終了のタイミングに合せ、実技講習開催予定情報をお知らせします。

なお、受験資格等の相談問い合わせは日本ボイラ協会通信講座事務局へご連絡ください。

### 2. ボイラー実技講習とは

受験資格を得るための方法の1つで、都道府県労働局長が指定する講習（20時間）のことで、社団法人日本ボイラ協会の都道府県支部で開催しております。ボイラーの前で受講する実習などです。

### 3. 免許試験の受験に際して

受験に必要な手続き等については「二級ボイラー技士試験標準問題集」の巻末に記載しておりますのでご参照ください。

なお、受験申請書は社団法人日本ボイラ協会各都道府県支部においても取り扱っております。

試験会場は常設試験会場として全国7箇所にあるほか、出張試験も地域によっては開催されます。ボイラー実技講習の開催予定同様通信講座の修了のタイミングに合せ、実施予定等をお知らせします。

## 二級ボイラー技士免許試験 通信講座の手引き

---

社団法人 日本ボイラ協会・通信講座事務局  
〒105-0004 東京都港区新橋5丁目3番1号 JBAビル3階  
TEL : 03-5473-4513  
FAX : 03-5473-4522  
E-MAIL : ent@jbanet.or.jp